

学校点描

急激に気温が下がってきました。いよいよ冬の到来が近づいてきます。技労員の吉田さんの雪囲いの仕事も終えたようです。

《S 中学校》

NO.11 H30. 11.27

11月23日（金）の祝日に、本校はここ数年『感謝の集い』の行事を開催しています。父母と教師の会で、ガスコンロや臼や杵、ついたお餅を用意して、生徒たちは、祖父母や地域の敬老の方々を招いて会食するという行事です。今はなかなか臼や杵など探すのも大変です。生徒たちには事前に、誰に対する感謝なのか、自分たちだけで食べずにお招きした方々を積極的に輪の中に入れることを伝えて当日に臨みました。外は雪も降っている状態でしたので、特に温かい雑煮は大好評だったようです。最後に、感謝の集いに参加された全員に紅白餅を配りました。紅白餅の残った分は、2年生の生徒を中心に、帰りがけに教員と一緒に近隣の家々に配り歩きます。今年は、ネットワーク事業の一貫として新庄警察署の方3人も、雪が強まる中一緒に活動に参加してくださいました。「ごめんくださいーい。新庄中学校ですが、感謝の集いで紅白餅を配って歩いていまーす」と、2年生のK・Mさんは、元気と愛嬌を振りまいて配ってくれました。さらに、出てきた家主のおじいさん、おばあさんに「オレオレ詐欺にも注意してください」と追加のメッセージ。どの方も、玄関に来た元気な中学生ににっこりしてくれます。お餅をもらった方の中には、外まで出て見送ってくださる方もいました。活動を終えて学校に戻ってくると、1本の電話がありました。「先ほどは、お餅をありがとね。もらった後思いついたんだけど、臼と杵いらないがや？」ある近隣の方からです。さっそく軽トラックで受け取りに行きました。そして、蔵の中にあつた、立派な臼2個と杵1個をいただきました。来年は、この臼と杵が大活躍してくれそうです。

さかなのなみだ

11月10日（土）は『S市教育の日』です。11月の第2土曜日と決めています。これを参考にし、県でも同日に『Y県教育の日』を設定しています。私も、数年前に教育の日の運営に携わっていました。今回は、S中学校が毎年行っているコスモスの種の配布に生徒と参加します。

ボランティアのメンバーは、新生徒会役員を中心に5、6人となりました。2年生は前日修学旅行から帰ってきたばかりなのに、イベントを観に来た来客の方に一生懸命種の袋を配ってくれています。副会長のS・Hさんに「疲れてない？」って聞くと、「大丈夫です。」とやや眠そうな目で答えてくれました。H・Yさんは、なかなか減らないコスモスの種袋600個を、大ホールのステージ発表を見おわって出てきた人々に狙いを絞って配る作戦を考えたようです。

出店形式のブースのひとつに、カードに自分のよさや友人のよさをたくさん書いたらトイレットペーパーがもらえる、ちょっと変わった出店がありました。発案者は、役場職員のMさんという女性で

す。ただのトイレトペーパーじゃないんです。トイレトペーパーを伸ばしていくとこんなことが書いています。



『中学時代のいじめも、小さな部活動でおきました。ぼくは、いじめる子たちに「なんで？」ときけませんでした。でも仲間はずれにされた子と、よくさかなつりに行きました。学校から離れて、海岸で一緒に糸をたれているだけで、その子はほっとした表情になっていました。話をきいてあげたり、励ましたりできなかったけれど、だれかが隣にいただけで安心できたのかもしれない。ぼくは変わりものですが、大自然のなか、さかなに夢中になっていたらいやなことも忘れます。大切な友だちができる時期、小さなカゴの中でだれかをいじめたり、悩んでいたりしても楽しい思い出は残りません。外には楽しいことがたくさんあるのにもったいないですよ。広い空の下、広い海へ出てみましょう。』

これは、無類の魚好きで有名な“さかなクン”という人が、中学時代に経験した、いじめについて書かれているトイレトペーパーです。こんなトイレトペーパーをよくみつけたなあ后感心します。「トイレは、ひとりの時間ですから、意外に見てくれるかなあとと思って」とMさんが答えました。

さかなクンいわく、メジナという魚は、狭い水槽に入ると必ず1匹仲間はずしを行うそうです。仲間はずれになった1匹をすくって、別の水槽にいれると、今度はまた別のメジナが仲間はずれに遭うそれを繰り返す。でもメジナは海に出ると、まったくそんなことをしないのです。いじめは、狭い集団や、狭い人間関係の中でこそ発生する、それは魚も人間も同じなんだと、さかなクンは、考えたのです。だからこそ、もっと将来のことを考えたり、世の中のことを考えたり、たくさんの人と出会ったりすることが中学時代には大切なんだと。

世代を超えた人との会食、餅配り、種配りボランティア、ちょっとした体験で世界は広がります。

高校時代に「すいそうがく」を“水槽”楽と勘違いして入部したさかなクン。でもそこで出会った音楽好きの人たちの中で魚だけの世界から、さかなクンもまた違う世界を広げたそうです。

出典:さかなのなみだ(リヨン社) (文責 教頭)

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp